

山口地方裁判所 御中

事件番号 平成 令和 年 () 第 号 事件名 請求事件

原告

被告

答 弁 書

令和 年 月 日

住所 〒

氏名 (会社の場合は、会社名・代表者名まで記入してください。)

電話番号 - - FAX - - ㊟

【書類の送達場所の届出】

私に対する書類は、次の場所宛に送ってください。

- 上記の住所 (アパートやマンションの場合は、棟・号室まで記入してください。)
 上記の住所以外の下記場所 (勤務先等の場合は、会社名も記入してください。)

〒

電話番号 - - FAX - -

この場所は、勤務先 営業所 その他 (私との関係は) です。

【送達受取人の届出 (希望者のみ)】

私に対する書類は、(氏名) 宛てに送ってください。

第1 請求に対する答弁

訴状の請求の原因に書かれた事実について、

- 全て認めます。
 間違っている部分があります (書ききれない場合は別紙 (継続用紙) に記載してください。)

【

】

- 知らない部分があります (書ききれない場合は別紙 (継続用紙) に記載してください。)

【

】

第2 私の言い分

- 私の言い分は次のとおりです (書ききれない場合は別紙 (継続用紙) に記載してください。)

【

】

- 話し合いによる解決 (和解) を希望します。

- 分滞払いを希望します。

令和 年 月 日から、毎月 日までに金 円ずつ支払う。

- その他の案 (書ききれない場合は別紙 (継続用紙) に記載してください。)

【

】

※ 項目を選択する場合には、欄に「レ」を付してください。

答弁書の記載例

※ 事件の表示などの形式的記載は省略

1 「請求の趣旨」に対する答弁

「原告の請求を棄却する。訴訟費用は原告の負担とする。」

との判決を求める。

2 「請求の原因」に対する認否

(1) 1項（原告が貸金業者であること）は、認める。

(2) 2項（主債務（貸金債務）の存在）は、知らない。

(3) 3項（保証契約の締結）は、否認する。

被告は、当該契約に合意していない。甲1号証の契約書における被告の署名押印部分は偽造されたものであり、押印部分の印影は被告が使用する実印と異なる（乙1（印鑑登録証明書））。

3 被告の主張

(1) 催告の抗弁

原告は、被告に請求する前に、主債務者（貸金債務者）である〇〇に対して支払を求めるべきである。

(2) 消滅時効

ア 上記貸金債務の返済期限である令和〇〇年〇〇月〇〇日から10年が経過した。

イ 被告は、本書面をもって、上記貸金債務について消滅時効を援用する。

ウ 主債務である貸金債務が時効で消滅したことによって、上記保証債務も消滅した。

以 上